

日本テレビ放送網株式会社  
2023年11月8日

## 職場での性的マイノリティに関する取り組みを評価する 『PRIDE指標2023』にて テレビ局で初のゴールド認定！



日本テレビ放送網株式会社（本社：東京都港区 代表取締役社長執行役員：石澤顕、以下日本テレビ）は、一般社団法人「work with Pride」が主催する、企業・団体等における LGBTQ+などの性的マイノリティに関する取り組みを評価する指標「PRIDE 指標 2023」において、テレビ局で初めて「ゴールド認定」されました。

本指標は、Policy(行動宣言)、Representation(当事者コミュニティ)、Inspiration(啓発活動)、Development(人事制度・プログラム)、Engagement(社会貢献・渉外活動)という5つの指標で評価され、全てにおいて要件を満たすことで「ゴールド」が認定されます。

日本テレビホールディングスでは、社員が遵守すべき内部規範「コンプライアンス憲章」において、性自認・性的指向を含むあらゆる人権を尊重することを定めている他、サステナビリティポリシーの重要課題のひとつに「多様な人材の活躍と共生」を掲げており、性的マイノリティへの理解促進の取り組みを進めています。

- \* 経営層からのメッセージの発信や定期的な社員研修の実施。
- \* 従業員有志によるコミュニティの立ち上げ。
- \* 同性間のパートナーにも異性間祝金と特別有給休暇を認める「同性パートナー制度」の導入。
- \* LGBTQ+の支援者「ALLY(アライ)」であることを表明するステッカーの作成と配付。
- \* 多様性を尊重するキャラクター「にじモ」を活用したイベントの実施。
- \* 就職活動時のエントリーシートにて「性別を選択しない」という項目の追加。
- \* 東京レインボープライドへの出展とパレード参加。
- \* 報道局「ジェンダー班」設置など。

これまでの取り組みの積み重ねが、今回のゴールド認定につながりました。



今後も、様々なステークホルダーと協働して、性的マイノリティだけでなく、誰もがより自分らしく活躍できる職場、そして社会づくりに取り組んでいきます。

以上 日本テレビ放送網株式会社 総務局広報部